

# 小矢部市立津沢公民館

## ◆事業の目的

ふるさとの自然と歴史を知ること、自然や歴史が生活と深くつながっていることを学ぶ。  
自分たちの地区内にあるいろいろな謂れのある場所や自然を訪ねることで、ふるさとへの知識や愛着を深めるようにする。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月21日(土)	興法寺・蓑輪地区の歴史と自然の観察	興法寺蓑輪地区	22名
6月18日(土)	津沢町の歴史と自然の観察	津沢町内	20名
9月17日(土)	小矢部市内の巨木観察	小矢部市内	20名
10月15日(土)	森の恵みを使った自由工作	津沢公民館	30名

## ◆事業の様子

### ☆ 興法寺・蓑輪地区の歴史と自然の観察

初夏を思わせる暑い中、津沢地区の興法寺・蓑輪地内を歩く(3km)。  
屋敷林～浄教寺(ジョウキョウジテマリザクラ)～弘法の清水～大將軍塚～沼田太郎右衛門高信の碑の5カ所を訪ね、それぞれの場所でそこにまつわる謂われや歴史のお話を聞く。



### ☆ 津沢町の歴史と自然の観察

津沢の町内を歩いて自然と歴史のかかわりを調べる(2.3km)。  
加賀藩蔵跡～旧津沢小学校跡～波止場跡～砲弾型記念碑～加越線跡～牛の供覧の跡地～砺中町役場跡～阿曾三衛門碑～津沢の町並み～津沢郵便局跡～津沢神明社～津沢保育所まで説明を受けながら歩く。途中には昔の畔道で車も通れない小路もあり昔の津沢町の様子を歩くことで体験する。



### ☆ 小矢部市内の巨木の観察

「おやべの巨木・古木」を紹介している葉の中から杉内地の日吉神社、臼谷の八幡宮、埴生の八幡宮、久利須の俊寛塚、宮島の滝乃社、宮島神社の6カ所を決め観察に行く。

雨模様の中であつたが、講師の方からの説明を聞いてそれぞれの樹木から歴史や時代をくみ取って自然の生命力のたくましさにふれる。



### ☆ 森の恵みを使った自由工作

森から採ってきた木の実、木の枝、木の皮、苔、蔓などいろんなものを使って自由な作品を作ることで、森には恵みがいっぱいあることの認識を深める。講師の方から、森の木は二酸化炭素を吸って私たちが生きる為に必要な酸素を作っていることを教えてもらって、地球の温暖化防止の話し合いもする。



## ◆事業の成果と課題

ふるさとの自然や歴史を学んだことでふるさとに興味が生まれ、それがもたらす恵みを知り、ひいてはそれを大切にしなければいけないことに気がつくきっかけになったと思う。